

異文化理解教育に力を入れる甲南大学（神戸市）の国際言語文化センターが開設15周年を迎えました。

英独仏中韓の5言語の講座を持つ同センターは「使える外国語」の教授法を開発し、社会人にも人気で、関西の大学では初めて「外国語教育に関する学生の満足度調査」で全国10位にランク入りしたそうです。

同大学初の外国人の国際言語文化センター所長、胡金定教授（中国・アモイ出身）＝写真＝は「外国語教授には『笑い』が重要。ユーモアひとつが学生の学習意欲を引き出します」と力説します。

胡教授が開設した中国語学習サイト「胡金定・com」も拝見しましたが、自らがモデルの「こきんちゃん」イラストが満載され、確かに納得のユニークさでした。

（吉村剛史）

